

# 「第46回 東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」

## を開催しました

8月4日に「第46回東海地区みどりの少年団(隊)サマージャンボリー」を愛知県豊田市の「愛知県緑化センター」で3年ぶりに開催しました。岐阜県からは、海津市みどりの少年団17名、北方小学校みどりの少年団14名の団員が参加しました。

今回は、コロナの影響もあり、日帰りの行程とし、参加する団員も全体で70名程度に絞った上で、全体を2班に分けて、午前と午後交互に「自然観察ラリー」と「間伐材のフォトフレーム作り」を楽しみました。

自然観察ラリーでは、小雨模様のため、屋内の樹木や草むらの中に隠されたいきものを見つける「いきものみつけ」や木の枝や葉を水に浸して人間の動きなどと調和する「水のある風景作り」を楽しみました。フォトフレーム作りでは、ヒノキの間伐材をベースに、写真の周りに木の実や枝などを工夫しながら貼りつけて、世界で一つのフォトフレームを作り上げました。

日帰りのため短い時間でしたが、みどりの少年団のみんなは、すぐに仲良くなり、団員同士の絆と交流も深まって、夏休みの良い思い出になったと思います。

次回は、三重県での開催を予定していますので、多くのみどりの少年団の皆さんの参加を期待しています。

どこにいるかな?



いきものみつけ

涼しい風景を作ってみよう



水のある風景作り

工夫して貼り付けよう



フォトフレーム作り

うまくできたね



フォトフレームができました

みどりの少年団 勢ぞろい



集合写真

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司】

## 森の楽園

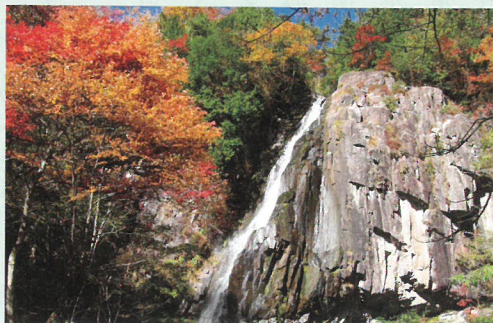
# 生活環境保全林の紹介「せせらぎ街道四季の郷」

岐阜県には、治山事業で整備した生活環境保全林が32箇所あります。生活環境保全林とは、市街地の周辺に位置する保安林のうち、山地災害の防止等と併せて自然環境の保全・形成を目的として整備された森林で、治山施設の設置や花木の植栽等が行われ、保健休養や自然観察の場として、多くの県民の方々に利用されています。

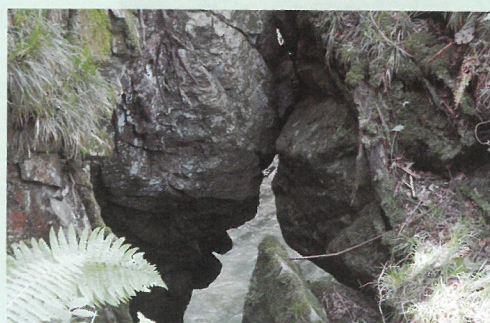
より快適に楽しんでいただくため、生活環境保全林を管理する市町村により、施設の増強や老朽化した箇所改修などが取り組まれており、県では補助制度（集落環境保全整備事業）を設け、これを支援しています。

今回ご紹介する「せせらぎ街道四季の郷」は、郡上市から国道472号を経て高山市へと通じる通称「せせらぎ街道」沿いにあり、区域内には散策道が整備されていて自然観察・森林浴・トレッキング等を楽しむことができます。

長引くコロナ禍で中止されていた、清見町まちづくり協議会による「おおくら滝トレッキング」も今年復活し、少し明るい兆しが見えてきたこの頃です。会場となる大倉滝には、人が顔を寄せ合っているように見える岩がありますので、お出かけの際にはぜひ探してみてください。



大倉滝



人が顔を寄せ合っているように見える岩

【森林保全課 後藤 謙宜】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8526 森林保全課まで